

学校評価用アンケート(学校教育自己診断)

【生徒用】

()年 ()組

- 各設問について、右の基準により、回答欄の当てはまる番号のところに○印を入れてください。
- 各設問でC・Dを選択した場合のみ、できる限り学校を改善するための「提言」や「ご意見」を各設問の下段にご記入ください。なお回収後、開封は管理職で行います。

基準
A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回答数 84 /91

回収率 92%

肯定回答 AB			
R06	R05	前年比	R04
90%	81%	9	73%
90%	92%	-2	84%
94%	87%	7	93%
77%	90%	-13	80%
77%	69%	8	62%
99%	89%	10	90%
93%	86%	7	84%
92%	86%	6	92%
89%	82%	7	80%

	設問	A	B	C	D	E
1	学校に行くのが楽しい。 ()	36	40	2	2	4
2	先生はわたしたちのことを大切にしている。 ()	44	32	1	0	7
3	将来の進路や、生き方について考える機会がある。 ()	48	31	1	0	4
4	先生はいじめについて、私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。()	47	18	2	0	17
5	担任の先生以外にも保健室等(担外、SSW、臨床心理士等)、気軽に相談することができる先生がいる。()	31	34	0	1	18
6	命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。 ()	54	29	0	0	1
7	学校行事(すながわ祭、スポーツ大会等)は楽しく行えるように工夫されている。()	59	19	0	1	5
8	学校は1人1台端末(タブレット端末やパソコン)を効果的に活用している。()	52	25	1	0	6
9	先生は私たちの障がいについて、よく理解してくれている。 ()	51	24	0	0	9
10	学校への意見、要望等がありましたら、記入してください。					

【保護者用】

基準

- A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回答数 69 / 91

肯定回答 AB			
R06	R05	前年比	R04
93%	91%	2	84%
84%	80%	4	85%
86%	93%	-7	89%
96%	94%	2	92%
75%	83%	-8	76%
91%	96%	-5	92%
90%	93%	-3	93%
96%	93%	3	89%
90%	86%	4	86%

学校評価用アンケート（学校教育自己診断）

【教員】

基 準
A 大変思う
B 思う
C あまり思わない
D まったく思わない
E わからない

回収率 100%

回答数 43 /43

肯定回答 AB

	設 問	A	B	C	D	E
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。 ()	34	8	0	0	1
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。 ()	14	28	0	0	1
3	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。 ()	26	15	1	1	0
4	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導をおこなっている。 ()	27	14	1	1	0
5	いじめの(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。 ()	31	11	1	0	0
6	教育相談体制が整備されており、生徒と学級担任以外の教職員とも相談することができる。 ()	30	12	0	0	1
7	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。 ()	26	16	0	0	1
8	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。 ()	18	21	2	0	2
9	生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。 ()	28	13	0	0	2
10	学校への意見等がありましたら簡潔にご記入ください。					

R06	R05	前年比	R04
98%	98%	0	96%
98%	91%	7	93%
95%	93%	2	91%
95%	91%	4	100%
98%	98%	0	100%
98%	95%	3	96%
98%	98%	0	98%
91%	95%	-4	96%
95%	98%	-3	100%

令和6年度「学校教育自己診断」の結果と分析

○令和6年12月、生徒、保護者、教員を対象に実施。生徒92%、保護者76%、教員100%の回収率で、昨年の回収率とほぼ同様の数値であった。（教員の回収率が100%を維持）
本年度も、生徒、教員のアンケートについてはフォーム作成ツールを使用した。保護者は12月の授業参観時にアンケートフォームでの入力を行ったが、32%の回収率だったため、授業参観を欠席された方および当日未回答だった方には従来通りプリントを配付し実施した。

○生徒・保護者アンケート

【進路指導等】

「将来の進路や、生き方について考える機会がある」「学校は将来の進路について適切な指導を行っている」の質問では、肯定的評価が生徒94%で昨年より7ポイント増、保護者96%で2ポイント増加している。授業の中での仕事調べ、進路のてびきや進路だよりを使ったHRでの指導、長期休みの間のお手伝いの宿題等、学校と家庭とが連携して取り組んだ結果だと考えられる。企業の方による出前事業を効果的に行い、生徒の意識に残る授業ができたと感じる。今後は、知識の定着にポイントをおき、『対話・遊び・学習力・体験学習』を通じ、日常の生活に反映できるようにするとともに、生徒・保護者・教員の声をボトムアップし、改善に役立てたい。

【生徒理解、人権教育等】

「命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある」の肯定的評価は生徒99%で10ポイント増、保護者が91%で5ポイント減少している。同和問題やLGBTQなどについて出前授業を通じて実際の出来事を体感する機会を昨年度に引き続き行っている。

「学校はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる」については、生徒が77%で13ポイント減、保護者が75%で8ポイント減であった。道徳の授業では自己を理解することや他者を理解し適切なコミュニケーションを身につけることを目標に掲げ、事例を挙げて様々なことを3年間で学んでいる。学習したことが自分ごとと感じられるように、関連する教科と連携し、日常のHRでの指導に引き続き生かしていく。困り感だけでなく、日常の生徒の頑張りや成長を家庭に伝える機会を増やし、家庭と連携して生徒の成長を促すことに力を入れていく必要がある。

【ICT】

「学校は1人1台端末を効果的に活用している」は、生徒の肯定的評価が92%で昨年度より6ポイント増であった。朝の自立活動や授業の中でICTを活用し、一人ひとりの意見を視覚的に理解できるような授業展開を日常的に続け、「1人1台端末」という意識が定着した。

○教員アンケート

全項目で肯定的評価が90%以上であり、前年度とほぼ同様の結果となった。昨年度の学校教育自己診断での意見も踏まえ、教員の入れ替わりやコロナ明けの教育活動に対応するため、今年度は教員研修の機会を多く持った。学校としての目標を教員一人ひとりが意識して、一貫した教育ができてきた。今後も教育活動の評価をしっかりと行い、次年度の計画に生かしていく必要がある。

「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」については、肯定的評価が98%で前年度同様だった。12月から職員朝礼をなくしたが伝達事項は共有化した表計算ツールを活用することにより、職員室以外で活動する教員にも迅速に情報の共有ができるようになっている。ツールを活用しつつ意識をして会話をすることが大切である。

教員アンケートは、全項目で肯定的評価が90%以上と評価は高いものの、「大変思う」より「思う」の割合が高い項目がある。「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度に生かしている」「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている」は、「個々」としては頑張っているが、「チームすながわ」として、ブラッシュアップできるのではないかと考えている。就労という進路先を見通した場合、教員の知識として福祉制度等の熟知や様々な支援機関との連携が必要となるため、教員研修等に積極的に参加し、新しい制度等を学んでいく姿勢が大切である。